

『地域のエネルギーとお金を地域と地球に活かす』フォーラム
福島の復興に資する再生可能エネルギー利用にむけて

【日時】2012年9月26日（水曜日）13:00から16:30（12:30開場）

【会場】福島大学 L 講義棟 L4 教室（〒960-1296 福島県福島市金谷川1番地）

アクセス：<http://www.fukushima-u.ac.jp/new/18-koutu/index.html>

交通機関：JR 東北本線「金谷川駅」下車 徒歩5分

【共催】法政大学サステナビリティ研究教育機構

福島大学うつくしまふくしま未来支援センター

認定NPO法人 環境エネルギー政策研究所

【後援】福島県

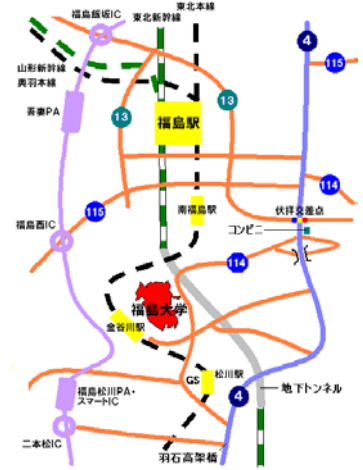
【協力】JST 地域エネルギー・ファイナンス研究チーム※

持続可能な風力利用研究チーム※※

※独立行政法人 科学技術振興機構 (JST) 社会技術研究開発事業「地域に根ざした脱温暖

化・環境共生社会」研究開発領域採択プロジェクト「地域連携による地域エネルギーと地域ファイナンスの統合的活用政策及びその事業化研究」

※※ 三井物産環境基金研究助成採択プロジェクト「持続可能な風力利用のための統合的ガイドラインと支援ツール」



【参加申込み】以下のページのフォーム又は FAX よりお申込み下さい。<http://www.isep.or.jp/event/3610>

【目的】 東日本大震災からの復興に向けた様々な取り組みが行われる中、再生可能エネルギーへの期待が高まっており、福島県でも、福島県再生可能エネルギー推進ビジョン等の中で再生可能エネルギーの飛躍的推進による新たな社会づくりが謳われています。現在、県内市町村単位での取り組みなど、再生可能エネルギーの普及に向けた動きが大きくなうねりを見せていますが、こうした取り組みに地域が主体となって関わることにより、地域の資源を、地域の人々の手で、地域のために活かす事ができます。

本フォーラムでは、福島の復興に資する再生可能エネルギー利用の推進に向けた制度・政策のあり方や、地域に根ざした再生可能エネルギー事業のモデルの確立に向け、地域主体の再生可能エネルギー事業の立ち上げ方や地域主体のお金の活用手法等について討論を行い、その具体的方向性を福島から探ります。

■プログラム（内容は変更される場合があります）

- 12:30 開場
- 13:00 開会

-第1部- 再生可能エネルギーが地域に資するための制度・政策とは何か

- 報告「福島県での再生可能エネルギーの取り組み」(福島県)
- 報告「うつくしまふくしま未来支援センターの取り組み」(福島大学)
- 報告「地域主体の再生可能エネルギーのための制度・政策とは」
(法政大学サステナビリティ研究教育機構)
- パネル討論：再生可能エネルギーが地域に資するための制度・政策とは

◇ パネリスト(予定)

- 福島県企画調整部エネルギー課
- 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター
- NPO 法人 超学際的研究機構
- 丸山康司 (名古屋大学)
- 船橋晴俊 (法政大学サステナビリティ研究教育機構)

〈休憩〉

-第2部- 地域に根ざした再生可能エネルギー事業とは

- パネル討論：事業化を行うために必要なプロセス、金融のあり方等について

◇ パネリスト(予定)

- 福島県南相馬市
- 白河地域再生可能エネルギー推進協議会
- 会津みしま自然エネルギー研究会
- 金融機関(元東邦銀行常務取締役)
- 飯田哲也(環境エネルギー政策研究所 所長)

- 16:30 閉会

【お問合せ先】

認定 NPO 法人 環境エネルギー政策研究所 [TEL:03-6382-6061](tel:03-6382-6061) 担当：氏家、松原

URL: <http://www.isep.or.jp/event/3610>

福島・再生可能エネルギーフォーラム(9/26)【申込みフォーム】 FAX 送信先: 03-6382-6062

お名前	
ご所属	
ご連絡先(電話番号)	
E-mail	
連絡事項	

※ご記入いただいた内容は、本フォーラムに関するお知らせにのみ利用させていただきます。